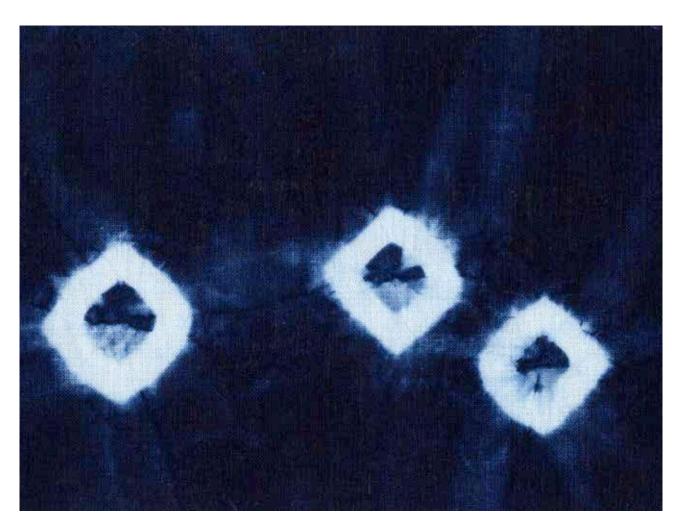






NO.89 有松まちづくりの会



◇竹輪(ちくわ)絞り

竹輪絞りは他の絞りと違い、糸をいっさい使わず竹の輪を防染に用いて絞る技法です。

染めあがり模様が根巻き絞りのような丸い輪の柄になりますが、使用する竹の太 さによって模様の大小が出ます。

竹輪を三浦絞りの針に差し込んでおき、生地を下に引きながら針に通してある竹 輪を針先から生地にかぶせるようにして下に下ろし、はめ込み固く固定させます。

解説:竹田昌弘

有 中 濵 挨

ます には に任命 共に努力していきたいと思います。 という事で大変なプレッシャーを感じており 致します。 多々あると思います この 度令和5年5月の総会にて新しく会長 所 懸命に ただきました。 町 並 前会長竹田嘉兵衛様の後を務める みの景観維持及び向上を皆様 努めます が、 のでよろしく 若輩者で至らぬ点が 任に付きましたから 、お願い

4年度 20 查 問 達成致しましたが、 進室をはじめとする行政機関 区 動 めて多くの人々や名古屋市歴史まちづくり さて、 われる重要な時期を迎 目 2 標 1 間 町 から令和6年度ま 0 で 9年文化庁認定】 であ 有 有 L 1 松 松 6 年 た重 り、 にまち とし 文化 要 そ づく 会 ての ここからが の 庁 活 統 り 活動評 えております。 動内容実績評価によ での3 選 的 の を先人の 定 建 会は、 の御尽力によ 造 年間が ?有松の真価を 価 ٤ 物 【文化庁審 長年 日 群 方々を含 保 本 用 一 遺 令和 存 の 本 ŋ 推 地 活 産

> 動に是非参加して 件付き認定地域】 更にその際に高評価 活 員会等様々なグループが活動 晩秋の有松実行委員会、 ちづくり は少なからずあると思い り 続 り 商工会、 松天満社 か?普通 有松絞商 動に ここ 消し】になるのかで有松の近未来への影響 令 ず 皆様におかれましては、 を体験して 和7年度から令和9 からは、 つ 有松消防団、 評価 の会をはじめ、 認定されるか、 いて私見を記したい 文嶺講、 工 協同組合、 【認定地域】なのか?低評価 有松まちづくりの会の今後の いただければ幸いに思います。 はたまた最低評 有松学区町 いただき楽しく 有松地域デザイン委員会、 【重点支援地域】 愛知県絞工業組合、 否か、 、ます。 年度の 有松福寄せ雛実行委 有松あないびとの会 と思います。 しておりますの 内連合会、 何 日本遺 現在、 れ が決まります。 か 価 ″まちづく の団体活 【認定取 有松ま になる 産 有 に継 条 松 有

> > 参加 と思い 修理 いい 町並み景観維持向上には、 と思います。 地区全戸に会員皆様で手分けして配布したい 具体的には、 推進室と連携して行っていきたいと思います。 ある事等の周 に役立つ勉強会 で修景をする場合 て注力して活動 地域住民 可 、ます。 能 を年に数回 更に町 知 地道な活動と思われがちです 手続き等のリーフレットを保存 へ の を、 【保存地区住 景観の文化的 名古屋市歴史まちづくり 並 0 したいと思 市への 開催 み景 極めて重要な活動 観 できたらと思 民はじめ誰 価値や維持向上 届 け 価 、ます。 出 値 の周 が必要で 知や まず でも ま

ています。 いただけたらと思います。 いを学ぶ研修会も、 をしている方々との交流 域 の町 また、 並み保存地区に伺 コ 企画され 口 ナ禍で中 た際は、 復活して行 止しておりました や他 って 是非 この地域 の、 いたいと思っ 同様 参加をし の良 の活 他

ます。 事が、 素晴ら を正しく受け たことがございますが、 最 後に しい町 今後とも皆様よろしくお願 今を生きる私たちの使命なのだと思 ″まちづくり″ 継ぎ、 並みを創ってきたわけで、 正しく次世代の人に 正に有松は先人達が は、 人づくりと い致します。 渡ま

絞

ŋ

Щ

車

0

内

町

並みの

景観維持向

上

ちづくりの会は

有松の三つの宝【町並

み

す。

松 地 区 の 更 な 魅 カ 向 上 向 け

山 功

|有松とのかかわり

だし。 を歩いた時 今年四月に着任 旧 の建造物が の私の率直な感想です。 調 し、 和 L 久し振りに た美しい 町並 有 松 0 2

理の現場においても、 駅の橋上化など様々な事業を行ってきました。 事務所を構え、 動と住民の皆様のご協力によるものですが、 は最盛期を迎えており、 務所で用地・ ひとえに会の皆様の五十年にわたる地道な活 方で市も、平成初期から地区内に都市整備 私事ですが、平成十三年度から四年間、 東海道随一の町並みが維持されてきたの 当時は再開発ビルの開業を控え、 変した時 物件移転工事が進むなど、 補償担当として従事していまし 再開発、 期であったことを思い ブロックごとの大規模 区画整理、 東海道周辺の区画整 地区の風 道路整備 各事業 出しま 事 は

尽力により、 みが実を結んだことで、 が事務所を離 画の区域拡大、 になったと感じているところです。 東海道の一 日本遺 れ た後 重 産 方通行化や無 ŧ, 要伝統的建造 の認定といっ 落ち着きのある魅 地域の皆 た取り 物群保 電柱化、 様 のご

古民家利活用事業について

うとともに、 会を行ってまいりました。 からアンケートをはじめとする各種調 持が難しくなっていることを踏まえ、 る 貴 さて市 重 な歴史的建造物が様々な理由により維 は、 地域の皆様との意見交換や説明 有松の歴史的な町 並 み を構成 昨年度 調査を行 す

②本物の歴史や文化に出会い、ゆっくり楽し ③既存の住環境や産業との調和を図 ①地域全体で古民家の維持・活用に取り組 三点を掲げ、 を活かしたまちづくりの考え方」として次の これらを踏まえ「有松地区に 今年度は、 みながら交流できるまちを目指 に活動する民間企業(連携事業、この考え方に共感し、市と連携 今後取り組んでまいります。 おけ る る古民家 む

皆様 業者とともに汗をかいてまいる所存ですので、 古民 を図 古民家の利活用に向け、 って 携事業者は、 お 利 か 活用事業の成功に向 いくことになりますが、 れまして 令和六年度にかけて複数 地域の皆様との調 引き続き、 け、 市も連携事 民間主体 ご理解と 0 整 0

を終了する予定です。

の公募に着手しており、

九月末には審査

して主体的

ご協力をお 61 L ま

|岡家住宅につい

用することを想定しています。 ましては、 令和3年度に市が取 日本遺産ガイダンス施設として活 得した岡家住宅につき

とめる予定です。 定に向け、 など取り組んでおり、 昨年度から「岡家住宅保存活用 有識者等による懇談会を開催 今年度は計 証を取 計 画 する りま 0) 策

です。 しつつ設計等を行 保存活用計画の策定後は、 ζ) 工事に入っていく予 地域 の声 たも反 映

■地区の更なる魅力向上に向けて

取り組みを進めてまいります。 と力を合わせ、 このように市は、 地区の更なる魅力向上に 地 域 の皆様や民間事 デ業者 向 け

皆様には、 策にご理解とご協力をお願 今後とも、 市の歴史まちづく い致します。 り

願いいたします 可申請・届出の手続きが必要となっています。 づくり推進室へ許可申請 建築行為等を行う場合、建築確認とは別に許 建築行為等を行う30日前までに、歴史まち 地区内のすべての建築物・工作物に関して ・届出をよろしくお

は、歴史まちづくり推進室にお問い合わせく 伝建地区・町並み保存地区に関するご質問

電話 052-972-2782

有松まちづくりの会総会 令 和 五 年 拞 月 十 八

Ħ

川 口

廣次 明美

(企画部)

鈴木

加藤

(広報部

梶野

泉

(広報部)



れました。 有 松 鳴海絞会館で 今年 ・度の総会が開 か

長塚

啓

(広報部 (財務部

名桐

秋雄

(広報部

基雄

(広報部)

年目の諸事業に参画し、 計画並びに収支予算案について審議が行われ 発足して50年の節目となる令和5年度の事業 との基本方針のもと、 き日本遺産認定に伴う諸活動を引き継ぎ、 令和4年度の事業報告がなされ、 有松まちづくりの会が 積極的に支援する」 「引き続

承認されました。 衛会長の勇退を受け、 令 和5年度の役員人事について、 次のように提案され 竹田嘉兵

令和5年度選任役員名

長:中濵 豊

副会長:鋤柄 久野 剛資 通雄 (財務担当) (総務担当

文彦 (企画担当)

根尾

中島 阿知葉征彦 信行 (有松町並み相談会事務局) (企画事業統括

伊藤

総俊

(広報部

事

監 査

久田耕一郎

与 ·· 竹田嘉兵衛

高瀬 喜祥

(敬称略 順不同)

(写真・福岡友一)

武馬 淑恵 (総務部) 服部 成田

亨

(総務部

本田 雅己 (広報部)

山上 六鹿 晴美 正晃 (総務部) (財務部

山田 修生 (事業部)

中村 俶子 (事業部)

山本 文雄 (広報部

柴田 幸生

問 服部 豊

顧

梶野 幸男

参

藤枝 静次

ゆかたまつりの時 有松日本遺 接遇力向 牛田さんと原口さんのお二人でした。 鳴海紋会館 エ 上 産 講師 アコンの効いた快適な環境で 研 推 の2階 修 進 に下見に訪れ は現役のANAの客室乗 が行われました。 協 で、 会の主催 熱中症警戒情報 有松の様 会場は 8 月 22

有松スタイル&ランス交流

会 20

した。 有松あないびとの会の会員、 ビス業に従事する方々、 ボランティアさんも参加されま 桶狭間古戦場保 有松の 絞り 業 子をごらんになられたそうです。

さ、 聴覚、 第一 立ち居振る舞い。 調され 笑顔が大切なことを強 を持ってもらえるか否 の 目 その第一 かを決める。 声 の笑顔、 な 強 2回目のチャンス , , 印象は15 速さ、それが好感 調されてい , の 具体的には見た } 印象は視覚と ということ。 顔のマッサ 1 身だしなみ ン、 とりわけ 一秒で決ま たのは 大き 挨拶

> . €, \square 元 常習を繰り 一人でお手本を見せてくださり、 目 元 のト り返しました。 レーニング、 <u>77.</u> ち居 振

たちは 私 る ます。

引き続き9 古 月5日には 办 「訪日外 솼 都市 国 を 人おもて 祝 ĵ i n 有 を今後の町 松

に資 市の 0) 絞り布などで装飾された会場の書院で40名程 が拠点を置くまちでもある。 歴史に彩られたまち。 は世界遺 ス)への理解を深めようというもの。 パーティー 0 があるといいですね」と挨拶。立食パーティー の スタイ 河村名古屋市長に続き中村理事長が 方がグラスを片手に開会セレモニー。 主 9 一催で、 (料館や有松の文化に触れていただく場所 姉妹友好都市となったランス市 月3日 ル |産トー宮殿があるなど有松 が開かれた。 竹田家住宅でアフタヌー シャンパン NPO法人コンソーシアム有 有名シャンパンメゾン 2017年に名古屋 (RSRVロゼ・フ 午後1時過ぎ、 と同様に ンティ (フラン ランス 「有松 来賓



がら、 和紅茶を飲みな する参加 菜を使うお菓子 や日本茶 ランスや の伝統野

> さな輪 報 ネ 前会長竹田嘉兵衛氏が提唱した な会場の様子を見ると、有松まちづくりの は 口 注 コーズ。 の中から新しい文化・発想が生まれる。 シャンパンにつけて食べるとか。このよう 目されたのがランスのお菓子ビスキュイ・ (客間)」 構想が思い出される。 交流や情 が会場に 細長くふんわりと優しい味わい。 ζ γ, つも見られ 「有松サロ た。 中 で Ł 通

は、 で行われるように このような交流会が かけを作ったところ。 並みが残されるきっ であった。 るまちに、 松を再び賑わいのあ とを願ってやみませ に集ってくださるこ 有松のいたるところ 様々な方が有 有松に美しい (伊藤総俊 この書院 とのこと 町



なし研 修 一並み案内の折りに役立てたく思 が 行われ ました。 この2回 山本文雄) 0 研

第 3 回 有 5 松 盆 沙 踊 か 4) た 好 出 評 開 0 催 ŋ

5

は、 年から始まりました。 連続絞りまつり 触れて欲しい。 Ш まち有松の 綿浴衣が似合います。 にわたる伝統文化に 画です。 ちを楽しもうとの企 浴衣を着て有松のま 有松には絞り柄の木 止 車など、 になっ 有 コロ 松ゆかたまつ 日本遺 た2021 ナ禍で2年 4 0 0 町 が並みや 産の 年 り

終り染めなどの ワークショップを通 して、今でも、もの づくりのまちである ことに気付いて欲し い。このような願い

り

として実施されました。

強い日 な中、 葉でたたき染めをし、 にイ に、 時 携 組 ました。 はテーブル2か所に10数人が、 場には多くの人が押し寄せていました。 社文嶺講の授与品頒布が行われていましたが 並みツアーや山車会館の無料 海道沿い んころりん〞作りでは、 期 強化と盆 みとなりました。 年目 オンタウン有松3階のワークショップ会 館内活動が充実されてい 込み合っている販売店や飲食店も。 差しで人影は多くはありません。 打ち水など暑さを和らげる工夫ととも では、 の今年は更にパワーアップした取 踊りの実施です。 有松あないびとの会による町 イオンタウン有 うちわを作る体験会で 長い 開放、 行列ができてい ました。 猛暑の続 またミニッた 有松天満 松との連 有松東 そん 藍の 特

まり、 りに も多く ありまつ公園には、 を挟みながら8時まで行われました。 長嶋緑区長 最後に今年の目 イ 盆踊 オンタウン有松夏祭り の親子連れが集まっ ま た隣の絞会館 り が行われました。 のあいさつを皮切りに、 玉として、 時間を追うごとに人が集 バス駐車場での縁日に ていました。 連 夕方5時過ぎ、 有松で約 動し、 途中休 会場 宵まつ 20年ぶ 0 憩

(伊藤総俊)

変わらない有松~ 一変わる有松。

客様がぐんと少ない気がします。でしょうか?このシーズンは町並み案内のおスにも驚かなくなりました。この暑さのせいスにも驚かなくなりました。この暑さのセい

小山園まで歩きました。天満社のしながら森を抜けて新しい道を通 慣れた風景も変わっていきます。 すっかり変わってしまいました。 横切る新しい道路。 天満社のすぐ横なのに方角が一 リートの道、 たらそこは新しい町でした。 る程の変わりようでした。302号とそれを 先日、 一号線の角にもマンションが建設中、 散策会で有松天満社 歩道橋、 道が一本出来たら風景が マンション、 天満社の裏手に 真新しいコンク に参拝、 瞬判らなくな お天王坂の り、 住宅など 細根山 学習 出 見

きて、 張藩が知多から人を移住させて、 立派な町になっていった有松。 は変わらぬ江戸の情景ですが、 ん新しい住宅が建ち、 大昔、 旅人が安心して旅ができるようにと尾 これから益々 大切な景観になって 人の住んでないところに東海道 「江戸の情景・有松の 空き地が少なくなりま いくと思います。 近隣はどんど 東海道の景観 浅野康子) だんだんと がでで 町

仲

定

休

花 u, 0 r 7 080 4535 3857

が h a の仕入れも可 Luoreという名前をつけました。 な L おります♪ご予約は、 するためにお早めのご注文をおすすめ って頂ける、 心がキラキラするような、 2023年5 o r р 配送も可 р е е У (フィ ル 能です に オー 能となります。 そんなお花をお届けするため なれる花屋間違 月にオー オー 皆さまに新鮮なお花をお届 С 0 u お電話またはインスタ でお気軽 O です。 r プンしました。 е 幸せな気持ちに (クオーレ)心。 お好み にご相談下さ いなしです! イタリア語で u c e みんな Ó 花屋 植物

営業時 住 グラムでも受付しております。 いできるのを楽しみにしています! 間 9時~17時30分 緑区有松三〇〇一 - 二 皆さんに お



緑 区 60 周 年



誕生した緑区は今年 14 4 番 月 1 昭 目 和 38年 の行政区として 日に名古屋市の î 9 6 3 60

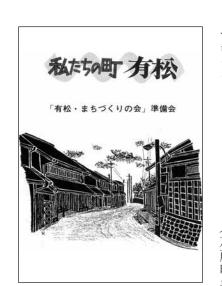
年を迎えます。

を込めて 「ずーっとプロジェクト」を発信中です。 有松は翌19 区政60周年記念口 緑区の宝を未来につなげる3つの 6 4 年 ゴ 12月に緑区に合併) マー クに感謝の気持ち

有 松 ま ち づ 4 ŋ の 発足50年 会

とは そのままに、 もの」とした第1回全国町並みゼミのテーマ 町の町民自身が中心になって、考え、 男性も主婦も、 しでいきましょう。 の心意気。受け継ぐ私たちは、40回ゼミのテー の熱き思いが伝わってきます。 信をもって子孫に誇るために」とあり、 とです。 て考えてみよう」「一番大切なことは、 を合わせて、 の会」 われました。 「町並みはわたしが守る」との強い気持ち 昭 「町並み保存会」ではなく、「まちづく 和 48 だということ。 私たちが住みよい有松町を作り、 年2月 これからも有松のまちづくり推 みんなで考え動 全町民が知恵と力を出しあっ 趣意書には「老人も若者も 18 H 発会式は有松公民 町 並みはみんなの こうとした当時 改めて思うこ (加藤明美) 先人 有松

り



発会式パンフレットの表紙

را 有松まちづくりの会の50年の軌跡をたど 先人たちが記した「有松町史」「有松しぼ 今後のまちづくりを考えていきましょ 等の資料から有松を見つめなおします。 『有松』を語ろう会 (日程は未定)

『晩秋の有松を 楽しむ会 2023』

10月28日(土)・29日(日)

10 時~ 20 時 時 間 場 所 有松東海道一帯

有松の歴史的な町並みを会場 伝統・文化・SDGsをテー た「絞り・いけばな・きもの・ お茶」など、さまざまな展示や企 体験を実施します。

絞と瓦 灯リストリート in 有松

10月14日(土)~29日(日)

時 問 16 時~ 21 時 場 所 山与遊歩道 (有松駅南・徒歩すぐ)

絞りと瓦。2つの異なる伝統技 術を受け継ぐ染色家と鬼師がコ ラボした新しい灯りのオブジェが 有松の夜を彩ります。

俳

有

松

句

「栗笑」

諏訪部草童

栗 笑 ť, å 絞 ŋ 問 屋 0

12 碑 探 3 秋 塀 日 0 笠 内

1 7 秋 光 集 む絞 ŋ 染 め

> ₹ 458-

0924

解

か

主 な 訪 者

- 旅 人企 画 「東海道53次を歩く
- ジャパンキルティングテキスタイルツアー
- 『城学園国際文化研究クラブ

鯱

- 名古屋都市センター留学生
- 門真市民生委員児童委員協議会
- ふるさと散策の会

日本国際協力センタ

- 椙山女学園大学 名古屋大学
- 関 天白鯱城会
- !崎さんまる会 【西福祉の会

岡

細江文化協会 国町区長会連合会

中

·部経済同友会

花学園大学



来

集

後

子どもも大

有松あないびとの会ご案内分

楽しい!なぜだか不思議と心躍る、

りの会は今年で50年。 と欲が出ました。 松しぼり音頭」など有松もので一層盛り上げたい コマ・盆踊り大会でした。来年は「有松音頭」や「有 めて感じた、ありまつ公園でのゆかたまつりの 人も櫓を囲んで踊っちゃう、 昭和48年(1973)に発足した有松まちづく 有松が好きで、 盆踊りのパワーを改

ただただ感謝です。 にと様々な応援をしてくださった全ての皆様に、 夜祭りも復活の山車まつりを始め、 有松のため 秋の有松を

楽しむ準備はOKです。 へお出かけください。 皆様、 企画編集 ぜひ有松の町並み (加藤一 加藤明美) 成

〈有松まちづくり憲章〉

守り、次世代に届けるために、この憲章を定めます。 私達は、先人から受け継いだ有松のたからものを

有松の歴史や物語を学び、 創ります。 人と人とがつながり、ぬくもりのある有松を 有松の町並み・絞り・山車を守り、 遊び、 伝えます。 誇ります

有松まちづくりの会

二〇二三年九月三十日発行

(年二回発行)

名古屋市緑区有松三〇一二(有松商工会内) $\begin{array}{c} T \\ E \\ L \end{array}$ $\begin{pmatrix} 0 \\ 5 \\ 2 \end{pmatrix}$ (052) $\begin{array}{c} 6 \\ 2 \\ 2 \\ 7 \\ 4 \\ 0 \\ 1 \end{array}$ 6 2 1 0 1 7 8